

# 1 保育士・3人の子育て 子どもたちの未来ひらく市議



**高校卒業まで医療費助成**  
「急に熱が出たのに、手元にお金がなく、病院に行けない事態は、病状が急変しやすい幼い子どもたちにとって、命にかかわる問題」(2015年9月議会)——繰り返し

拡充を求めて、子ども医療費が高校卒業まで助成に。

**図書館支援員が増員**  
「かぎのかかったままの図書館。人の配置を」——初質問以来、図

書館支援員の増員を求めてきました。44名から60名へ増員に。小中学校の普通教室に続き、求めていた体育館・特別教室へのエアコン設置も実現しました。

# 2 市議44人中、女性は4人 ジェンダー平等つらぬく市議

**性被害の相談窓口設置**  
「日本では、1週間に1人の子どもが虐待で命を落としています。性被害を受けた10人のうち7人の女性は、誰にも相談できていません」(2017年12月議会)——配偶者

暴力相談支援センターが設置となりました。

**おおいたパートナーシップ宣誓制度**  
「東京都渋谷区が同性カップル

を結婚に相当する関係と認めるパートナーシップ制度を導入」——7年前に提案し、繰り返し要求。2023年9月からおおいたパートナーシップ宣誓制度が実施になりました。

# 3 市議会トップの発言回数 市民の声をしっかり届ける市議



**「斉藤パーテーション」**  
今期の本会議・臨時会での発言回数はダントツの**斉藤ゆみこ**。毎回60分の質問時間いっぱい使い、市民の声を届けます。

コロナ禍の県後期高齢者医療広域連合議会では、斉藤ゆみこの席だけに、手製の特大パーテーションとマイクが常備(写真左)。毎回発言するからです。

**降下ばいじん規制**  
降下ばいじん問題では、本会議で8回質問、排出基準を規制する答弁を引き出す。大企業にハッキリものが言える市議です。

- 実現へ全力
- 小学生も給食費ゼロ
  - 2歳までの保育料は第1子もゼロ
  - 返済ゼロの奨学金制度拡充

- 実現へ全力
- 男女賃金格差の是正、性暴力・性差別をなくす
  - 国保・介護の負担軽減、ケア労働者の待遇改善

- 実現へ全力
- 敷戸への長射程ミサイル保管の大型弾薬庫新設は中止
  - 降下ばいじんの規制強化



あきらめない！  
願い実現へトコトン  
**斉藤ゆみこ**

